

「市民と議会の意見交換会」(令和5年7月開催) アンケート集計

◆アンケート集計数 18件(うちWeb回答4件)

会場:福祉会館小ホール 10時00分~12時00分 参加者 27人

属性

○お住まい

中島町	
上水新町	2
たかの台	
小川町	2
栄町	
小川西町	1
小川東町	
上水本町	1
上水南町	3
喜平町	
津田町	1
学園西町	
学園東町	
仲町	
美園町	
回田町	
御幸町	
鈴木町	2
天神町	
大沼町	2
花小金井南町	
花小金井	2
市外	
未記入	2
計	18

○年齢

10代未満	
10代	
20代	
30代	
40代	3
50代	4
60代	4
70代	4
80歳以上	2
未記入	1
計	18

○参加回数

初めて	6
2~3回	3
4回以上	8
未記入	1
計	18

質問項目

1. 本日の意見交換会の情報を何で知りましたか(複数回答可)。

市報	11
議会報	
ホームページ	3
駅頭等での呼びかけ	1
チラシ	6
【手にした場所】	(内訳)
・公共施設	1
・自治会回覧	2
・自宅ポスト	1
・駅頭等での手渡し	
・その他	
・未記入	2
ポスター	
政党、議員のホームページ等	
知人に誘われて	4
その他(広聴広報特別委員会を傍聴して)	
計	25

2. 意見交換会を開催する会場について希望があれば教えてください(複数回答可)。 7. 今後の意見交換会について、どのような開催方法を希望しますか。

自宅の近く	4
駅の近く	3
駐車場のあるところ	5
どこでもよい	4
その他	2
・議場に近いところ ・公共施設。今回みたいに福祉会館等がよい。	
計	18

ハイブリッド会議方式	6
ウェブ会議方式	1
会場参加方式	10
その他	1
・どれでも良い。 ・様々な方法でやっていただきたいです。	
計	18

3. 参加にあたり一番ご都合のよい曜日と時間帯を教えてください。

平日午前	
午後	
夜間	
土曜午前	5
午後	1
夜間	
日曜午前	7
午後	3
夜間	
祝日午前	
午後	
夜間	
その他	
・いつでも可 ・月曜午前、午後	
計	16

8. 今後の意見交換会への参加について

ぜひ参加したい	5
できれば参加したい	12
参加しない	
計	17

9. 市議会だよりについてお聞きします。

(1)「市議会だより」を読んだことがありますか。

毎回読んでいる	10
ときどき読んでいる	6
読んだことがない	1
計	17

[読んだことがある方にお聞きします。]

(2)内容についてはいかがですか。

わかりやすい	3
まあまあわかりやすい	8
わかりにくい	4
計	15

(3)紙面についてはいかがですか。

文字が多い	3
ちょうどよい	10
その他	1
・もう少し詳しいと良い。 ・音声で聴いている。	
計	14

4. 本日の意見交換会開催の曜日についてはどうでしたか。

良かった	14
別の曜日のほうがよい	1
・三連休の中日はまずいのでは。	
計	15

5. 本日の意見交換会開催の時間帯についてはどうでしたか。

良かった	13
別の時間帯のほうがよい	1
・午後	
計	14

6. 本日の意見交換会の内容について

良かった	1
おおむね良かった	7
要望や意見がある	8
計	16

※要望等については、自由記入欄に記載。

自由記入欄 ご意見、ご要望又は希望するテーマ、ご感想等がございましたらご記入ください。

1. 議員の人数の方が多く感じた。話しにくい。PRはどのようにしたか。
2. 議会のLIVE中継を見た。常任委員会にも拡大してほしい。
3. 医療について、医師会まかせばかりでないように（検診、予防接種等）。医師会に入っていないでも良い先生が多くおられるのでは。
4. ボランティア活動のあり方について、組織があると活動しやすい人もいるのでは。（実は私の孫が大学生になってから都のボランティア組織に籍を置いて、奥多摩湖の周辺の森林の枝下ろし等に年間を通して生き生きと無料で喜んで行っているのを見て思います。）
5. 災害時の対応なども、万が一起きたら…と不安がいっぱいです。
6. 小平中にミニバスが走るように早くしてほしいです。不便で大変です。
7. もう少し市議と市民が近づいてほしい。
8. 時間不足
9. 小・中学校、公共施設の統廃合ありきの政策には反対。
10. 意見交換会の目的を明確にして、テーマごとの意見を出し合う機会も良いのでは。
11. 当面のこののみならず、大きなテーマ、すぐ解決しないことでも意見を聞くことも大切ではないか。
12. 予算、財源では、国と地方との関係も研究したらよいのでは。
13. 本意見交換会の目的、何のためにやっているのか不明確。会派によって考えが異なると思うが、テーマ別に意見交換が出来ればより良いと思う。
14. 精神障がい者の方が話し終わった時に、何人かの議員さんが笑っていた（ひどい）。本人にとっては切実なことだと思うのですが。Aグループの意見発表の中にその内容がなかった（隠してる？）。
15. 今回初めて、自分が住んでいるところの議員さんに会う機会があり、全ての方を観察した訳ではないが、選挙の際にどの人に入れたらよいか迷うことがあったが、このような機会に参加して入れたい議員さんを見極めることができた。
16. 議会のLIVE中継がとても良いです。委員会でもLIVE中継してほしいのでお願いします。市議会ホームページについても、議案や請願の資料なども今後アップしてほしい。
17. 久しぶりに市議会議員の方々、市民の方々と意見交換できて有意義な時間を持つことができました。身近な友人とは日本の不安を語る時間が持てません。心配ばかりで心身に影響が出る年齢になりました。このような場で未来への不安の話をして、他の方との共感ができました。
18. 議員さんの改善方法があれば、私にできることがあれば、声を上げてもらえれば参加します、協力します。
19. 憲法25条で、健康で文化的な最低限度の生活が保障されています。
小平市には国立精神・神経医療研究センターがあり、精神病の重症者、希少疾患の患者が住むという地域特性があります。私は精神障害者です。人の話を聞くと熱を出したり、政治家は討論が仕事ですが、討論をされるとトラウマを受傷したり、解離や動悸などの症状を起こします。
市長のタウンミーティングには何度か通い、小平市には精神障害者の重症者、希少疾患の患者がいること、人の話を聞くと熱を出すという障害特性があること等を伝えました。小林洋子市長は、私の体調を気遣うようになりました。私が発言をした後、「大丈夫ですか、熱は出ていないですか？」等と気遣ってくれます。人道的だと思います。問題は小平市議会議員です。28人いて、本当にろくでもないです。
 - ・不穏（「殺してやろうか」と思う、かっかした精神状態のこと）時に挑発をされた。
 - ・病院入院相当であると自己紹介し、健康人扱いされ、事務所で働かされた。
 - ・市政相談し、放置され、死者がでた。
 - ・道徳的に倒錯した発言を聞かされ、脳の道徳を認識する部位がダメージを受け、数日寝込んだ。
 - ・勇気を出してわいせつ教員被害を発言し、司会の議員から恫喝される。
 - ・「この政策はやらないで」と言った政策を、選挙のときにちらしに書かれて、大勢に配布される。
 - ・実害を受けているのですが、「そのような問題はない」と、被害をなかったことにされるような言葉を言われて、動悸を起こし、服薬が必要になる。
 - ・教育政策の話はどうしても長くなるのですが、「短く話せ」と指示され、話した後、廊下に行って泣いた。障害者虐待です。本来は、障害者に合理的配慮を提供するのが、市民の模範たる議員の務めのはずですが、ろくでもないです。
20. 冒頭の市議会のご報告は、大事な決定事項をご紹介いただいととても良いのですが、正確性の観点とのことから原文に近い表現でご説明されたので、表現が難解で理解できません。お示しいただいた原文とあわせて、狙いや目的と条例の要諦について平易な解説文（2、3行）があると良いなと思いました。「こういう狙いで、こうしたことを目的とした条例（議論）であり、市民にとってこのような影響（関係）がありますね。」といったイメージです。できるだけ、私たちの生活や行動にどんな影響が生じるか、何をすることになるのか、あるいは、何をしたら良いのか、行動につながるように解説いただくと大変ありがたいです。

21. 私はCグループに参加しました。冒頭に元学校教師の方から、学校の統廃合問題について「廃校前提ではなく学びの環境をよりよくする議論がもっと必要」といった趣旨のご意見が出され、それに対して、議員の方からは「公共施設の効率的な運営（公共マネジメント）が前提であることを理解いただきたい」といった意味合いの返答でした。市の財政や施設老朽化対策の重要性は理解しますが、ご意見の趣旨は、子供の教育環境の将来ビジョンに関する問いかけであり、それに対して経済合理性で返すセンスの無さに非常に残念な思いがしました。相手の疑問や問いかけに、率直に自身の考えで応えることが対話の基本だと思いますし、せっかくの意見交換の場では、議員の方には、議会での議論内容や行政検討の解説よりは、ご自身のお考えやビジョンを語っていただきたいと思います。答えを伺いたいわけではなく、色々な市民の思いに、議員個人としてどのような観点で向かい合うのか、また、どんな価値観で臨もうとされているのか、そうした姿勢やお考えが知りたいと思います。
- また、進行役の議員の方も、質問の意図を個人的な見解で読み替えてまとめられており、形式的に時間の都合で進行された様子で、本質的な疑問が受け止められたのかどうか、分からない状態で終わってしまいました。冒頭の元学校教師の方が、「この会は、行政の代弁が目的か、それとも対話か？」とご指摘されておりましたが、残念ながら、お互いの意識や考えが分かるような意見交換の対話にはなっておりませんでした。最後の各グループの振り返りでは、発言の紹介にとどまっており、あまり意味がありません。質問の本質的な問題意識や背景、交わされた意見の注目ポイント、そして議員の方々の感じられたことなどが共有されるような振り返りをしていただきたいと思いました。
22. 前半の定例会報告は、議案の内容と議決結果を一般人には分かりにくい言葉で説明するだけで、議会内でどのような議論がされて議決に至ったのかも分かりませんでした。後半の意見交換は、グループに分かれる形式は話しやすさが増して良かったと思いますが、テーマを絞っていないこと、ファシリテーションが不十分なことから、一部参加者による行政への批判・要望に時間を取られ、「議会」と意見交換をしている場とは思えませんでした。この内容であれば、「市民と市長の意見交換会」でいい気がしています。
23. 課題は多くあるとしても、「市民と議会の意見交換会」を継続して実施しているのはいいことだと思います。参加者の方々の声のできる範囲で反映し、より良いものになっていくことを願っています。
24. 子育て、医療・福祉、まちづくりなどテーマ別にグループで分かれ、議員さんも関連する委員会の方が付いた方がより深い話ができたのではないかと思います。
25. 意見交換会も議会の傍聴も、参加者の少なさと若い世代がほとんどいないことに驚きます。小平市の未来を議論する場に、若い方が積極的に参加するような工夫が必要ではないでしょうか。
- また、小中学生を対象とした議会との意見交換会もご検討いただきたいです。国連子どもの権利条約12条、子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること）の機会として、お願いいたします。ぜひ学校を通じて案内し、多くの子どもが市政について関心を持ち、小平市の未来について意見できる機会となればと思います。